

2019年8月2日

各位

株式会社日本総合研究所
株式会社 Laboro.AI

「わが国企業の ESG 側面の取組み調査」におけるカスタム AI 導入について ～ESG 情報を自動収集し、複雑な非財務情報の収集負荷を 5 割削減～

株式会社日本総合研究所(本社: 東京都品川区、代表取締役社長: 谷崎勝教、以下「日本総研」)は、「わが国企業の ESG(環境・社会・ガバナンス)側面の取組み調査」でのインターネット上の情報収集および文章抽出作業において、株式会社 Laboro.AI(本社: 東京都中央区、代表取締役 CEO: 椎橋徹夫、代表取締役 CTO: 藤原弘将、以下「Laboro.AI」)と共同開発したカスタム AI ソリューションを 2019 年 7 月から導入しました。

本調査専用共同開発されたカスタム AI ソリューションの導入によって、本調査の作業量全体の約 8 割を占める情報収集の負荷が約 5 割削減できる見込みです。また、ESG 評価項目と関連性の高い文章の一覧表が自動的に作成されるため、アナリストは特色ある ESG の取り組みを行う企業の発掘し紹介するなどの作業に一層注力することが可能となり、本調査の付加価値向上にこれまで以上の貢献ができるようになりました。

■背景

「わが国企業の ESG(環境・社会・ガバナンス)側面の取組み調査」(以下「本調査」)は、東証 1 部上場企業を中心とした約 2,000 社の国内企業を対象に、各企業の社会的課題の解消に貢献し得る製品・サービスや、ステークホルダーへの配慮状況を評価する日本総研の調査レポートです。ESG 側面の取り組みを業績・競争力につなげるという視点から、1999 年より毎年実施しています。

本調査では、温室効果ガス排出量や人権デューデリジェンスなど 100 を超える ESG に関する評価項目それぞれについて、複数の定量・定性指標を用いて評価します。それらの評価項目に関連する情報は調査対象企業のホームページや公開情報に掲載されていますが、ESG に関する情報は定性的な表現が多くを占めることから、情報収集作業や情報整理・加工作業はこれまで人手で行われてきました。

一方、ESG 投資が年々盛んになるなかで、投資家の方々からは本調査について多くの要望が寄せられるようになりました。また、企業側も開示情報を質・量ともに充実させる傾向が顕著となり、従来の人手だけによる調査体制のままでは本調査の質の維持・向上が難しくなっていました。

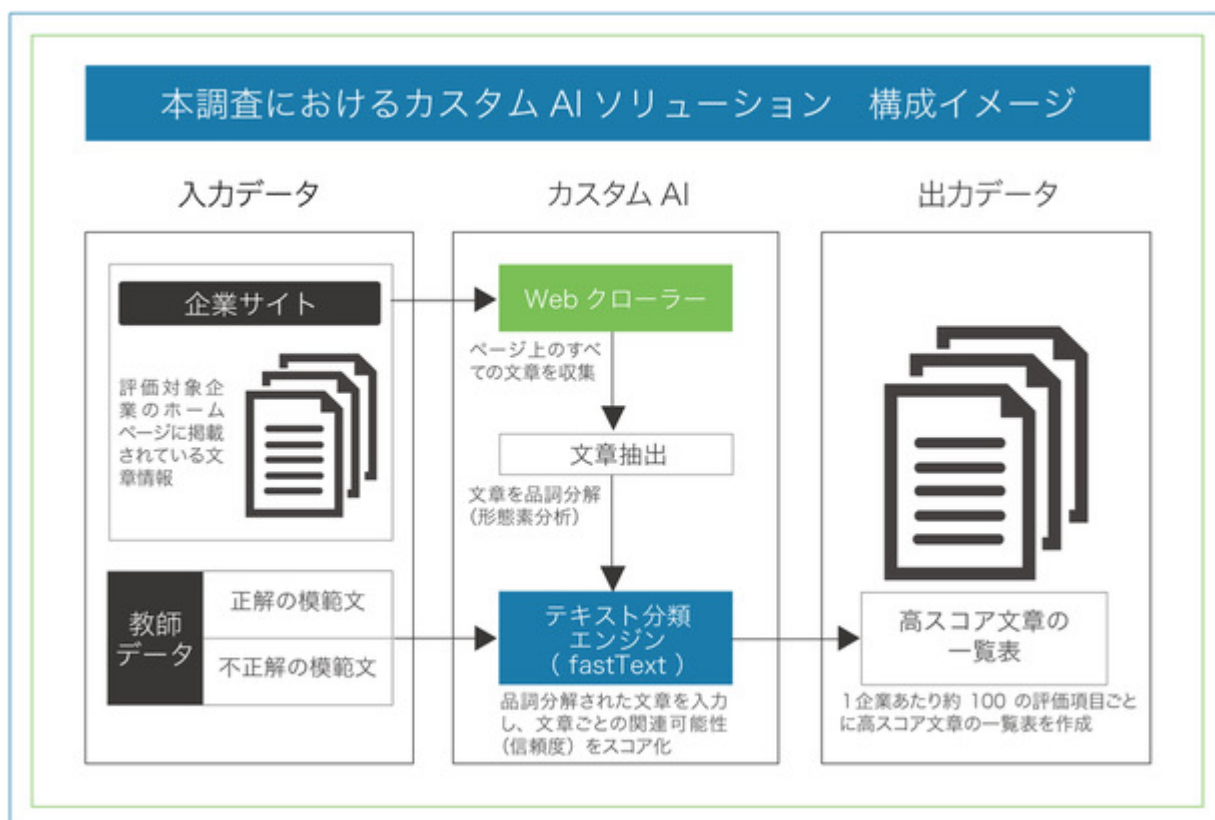
■本調査専用共同開発されたカスタム AI ソリューションの概要

本調査に導入したカスタム AI ソリューションは、20 年間にわたり ESG 調査を続けてきた日本総研と、オーダーメイドによるカスタム AI ソリューションを様々な業界に向けて開発してきた実績を持つ Laboro.AI が共同開発したものです。このカスタム AI ソリューションによって、インターネット上の情報収集作業と、ESG 評価項

目に該当する文章抽出作業を効率的に実施できるようになりました。

共同開発したカスタム AI ソリューションを本調査で使用する場合は、評価までの流れは以下のとおりです。

- ① Web クローラーが、評価対象企業のホームページからすべての文章を抽出します。
- ② 抽出した文章を、AI の認識に適するよう、品詞分解 (形態素分析) します。
- ③ 品詞分解された文章をテキスト分類エンジンに入力し、ESG 評価項目への関連可能性 (信頼度) を割り出し、スコア化します。このテキスト分類エンジンは、fastText 技術 (自然言語処理分野で用いられる AI 技術) によって、教師データ (ESG 評価項目への関連性の高い、あるいは低い模範文) との類似性を照合し、判断します。
- ④ こうして算出された ESG 評価項目への関連可能性が高い高スコアの文章を、一覧表として作成します。この一覧表を基に、アナリストが各企業の評価を実施します。



本調査専用に共同開発したカスタム AI ソリューションの導入によって、本調査の作業量全体の約 8 割を占める情報収集の負荷は、これまでの約 5 割削減できる見込みです。また、人手だけによって各企業のホームページから ESG 評価項目に関連する情報を探し出すこれまで方法とは異なり、アナリストは ESG 評価項目と関連性の高い文章の一覧表にいきなりアクセスできるため、情報収集にかかる作業量が大幅に削減され、特

色ある ESG の取り組みを行う企業の発掘など、より付加価値の高い作業に注力することが可能となりました。

今後も両社は、AI テクノロジーを活用しながら本調査に取り組むことで、有用な調査結果や評価の提供に努めてまいります。

以上

■本件に関するお問い合わせ先

日本総合研究所	【報道関係者様】 広報部	山口	電話： 03-6833-5691
	【一般のお客様】 創発戦略センター	黒田	電話： 03-6833-9237
Laboro.AI(ラボロエーアイ)	マーケティング部	和田	電話： 03-6280-6564